

木質バイオマスの地域循環システム

杉残材のペレット活用

今年度、安藤としきは県議会の農林水産委員会に所属し、委員長を務めています。農林水産委員会では、9月11日から13日にかけて、間伐材を活用したバイオマス事例や農産物のブランド化、農業の6次産業化の取り組みが行われている熊本県と福岡県の先進地事例の調査を行いました。

愛知県の森林面積は、総土地面積の約43%を占めています。しかし、担い手不足や木材価格



杉残材を粉碎・圧縮したペレット燃料



●ペレット製造プラント

農林水産委員会
先進地事例調査

の低迷などから、適正な森林保全が大きな問題となつています。このため県では、平成20年度から「森とみどりづくり税」を活用して、森林の間伐など森林のもつ公益的機能の回復と環境保全に取り組んでいます。間伐材の利活用が課題でもありました。

今回視察した熊本県の九州杉バイオ事業組合では、機械化により効率的に搬出された残材を粉碎、圧縮して、直径7ミリほどのペレットに加工しています。熊本県では、園芸ハウスの加温機の燃料として、従来の灯油や電気からペレットに切り替え、苺のブランド品「あまおう」やミニトマトの生産に活用しています。そして、焼却灰を

堆肥や緑化基盤材としてリサイクルするなど、「くまもと地域循環システム」の構築に取り組まれました。今回、熊本県で取り組まれていた間伐材など、未利用資源の有効活用と森林の環境保全を好循環させるシステム。愛知県が抱える課題解決の糸口を学ぶことが出来ました。

9月県議会の主な補正予算

■一般会計補正予算額 205億2349万余円

【主な補正予算】

- ・道路・街路事業 125億3600万円
新東名、名豊道路などアクセス路線整備や道路改良、橋梁維持管理
- ・河川・海岸事業 57億9700万円
河川の津波遡上区間における防護機能強化や、大雨による浸水被害多発箇所の整備、海岸堤防の耐震化など
- ・脱法ドラッグ対策費 398万円

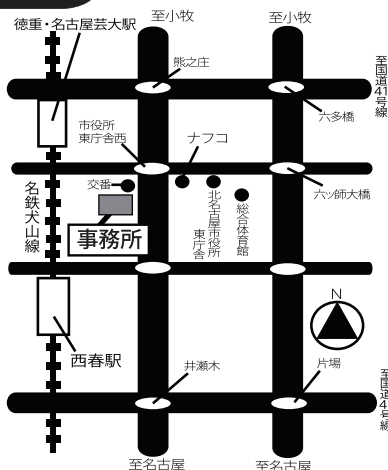
■港湾整備事業特別会計 2億1000万円 三河港コンテナヤード整備

県政・地域の様々な事をお聞かせください



安藤としは事務所にお気軽に立ち寄りください。お待ちしています。

■住所：〒481-0004
北名古屋市長田合田 83 番地 2
■TEL：0568-27-5277
■FAX：0568-27-5278



遠州一宮小國神社・可睡斎初詣と 舘山寺温泉

■とき

- 北名古屋市・豊山町地域…1月13日(日)
- 清須市地域…1月20日(日)

■参加費：お一人様 7,500円

*お申込み・お問い合わせは、後援会事務所まで
TEL：0568-27-5277 FAX：0568-27-5278